

<https://toyono-jinjikyo.com/>

YELL 先輩からのメッセージ

～令和4年度(2022年度)初任者研修・新規採用者研修を受講されるみなさんへ～

昨年度、初任者研修・新規採用者研修を受講した先輩からのメッセージです。一年間、子どもと向き合い、自分と向き合ってきたからこそその熱い想いが込められたエールです。

小学校

私は大学を卒業してすぐ担任となりました。初めは右も左もわからず大きな不安を抱えた日々でしたが、いつもまわりの先生方が助けてくださいました。私がしてよかったと思うことは、とにかくいろんな学年の先生にわからないことを何でも聞きに行ったことです。先生方からは、質問したことだけでなく、他の情報ももらえることがあります。授業のおもしろいアイデアや教室の環境設定、教材を回収する時の工夫、教材研究の方法などありとあらゆる情報をいただきました。そして、話の中で得た情報を活用することで自分の力にできたのではないかなと思います。ぜひいろんな先生に話しかけに行ってみてください。

授業が思うようにいかないこと、仕事での失敗、子どもとの関わり方などで落ち込むことは多くありますが、同じくらい子どもの成長に喜ぶ瞬間や、子どもからの授業楽しかった!わかった!と言う笑顔に励まされることも多くあります。これから出会う子どもたちとの充実した日々楽しんでください。

小学校

私はこの一年、社会人としても教員としても一年目で、目の前のことをこなすのに精一杯でした。日々次の日の授業づくりに追われ、そんな中で準備した授業も発問の仕方を失敗したな～と反省することがほとんどでした。「授業って難しいな、先生って大変だな。」そう思って毎日を必死に過ごしていました。しかし、そんな中でも目の前の子どもたちが一生懸命に授業を聞いてくれたり、日々の学校生活の中でふと感じる子どもの成長を見つけたときには、「明日はもっとおもしろい授業をしよう。この子たちを成長させたい。」と強く思うことができました。

こう振り返ってみると、この一年間で子どもを成長させてあげられたらどうかと不安にもなりますが、そんな子どもたちと一緒に自分自身も少しは成長できたかと思えます。多くの失敗を子どもたちの前でもしましたが、それでも子どもたちが一生懸命ついてきてくれたのは、自分自身の一生懸命さが伝わっていたからだと思っています。どんなに不格好でも、きっと子どもたちは先生の気持ちに一生懸命応えようとしてくれるはずですよ。つらいことがあっても目の前の子どもたちや、多くの先生方に相談しながら取り組んでみてください。一緒に頑張りましょう!

小学校

子どもたちは、想像以上に先生を見ています。「先生が笑ってないから、今日は元気じゃないです」と健康観察をしているときに言われてしまったこともありました。最初の一年はしんどいことのほうが多かったです。でも、毎日の悩みを先輩たちに相談しながら、楽しく雑談をしたり、子どものことを話し合いながら、支えられながら何とか一年を終えることができました。先生同士の人間関係がこの仕事をしていてやっぱり一番大切だと思います。周りにいる先生方との関係を大切に、できることを全力で一年を過ごせたらすてきなと思います。

小学校

不安なことやわからないことが多い中で学校に飛び込んでいくのは怖いと思いますが、周りの先生方が助けてくださいます。いつでも自分から学ぼうという姿勢を忘れずにいれば、きっと自分なりに頑張れるようになると思います。

教員生活でのしんどい話やつらい話も聞くと思いますが、それを上回るぐらいの喜びや楽しさは絶対にあります。私自身、失敗したことやうまくいかなかったこともたくさんありますが、これを糧にまた成長しようと気持ちを切り替えて日々過ごしました。この一年間で、「このときのことをずっと覚えていよう」「今の自分の気持ちを忘れないようにしよう」と思えるすてきな経験もたくさんしました。みなさんと一緒に働けるのを楽しみにしています。

小学校

振り返ると、本当に多くの先生方に支えられた一年でした。特に4月は、会議の内容もさっぱりわからず、毎日焦っていました。初めてのことも、まずは多くの先生に相談してみたら解決します。一人ではかかえこまないようにしてください。一年間経験することで、一年間の流れがなんとなくわかるようになります。焦らず、目の前のことに取り組んでみてください。

授業がうまくいかなかったり、トラブルが続いたりしているときでも、児童に元気をもらっていました。屈託なく元気にあいさつしてくれる児童からもエネルギーをもらえます。児童とともに成長した一年だったと思います。

小学校

これから働いていくなかで「しんどいな」と感じることもあるかもしれませんが、それは当然のことです。しかし、しんどい思いは抱え込まず、「同じことで苦労したわぁ」という人がいるはずなので、まずは近くにいる先輩に話をしてみてください。

そして、子どもたちは大きく変化します。しっかり向き合い、心で対話してください。そうすることでたくさん成長することができると思うし、その成長を日々感じられることはこの仕事の特権だと思います。たった一年だけの先輩ですが、子どもたちとたくさん成長することができたと思います。

みなさんと豊能地区で働くことができることを嬉しく思うと同時に、私自身も成長しようと決意を新たにすることができました。頑張りましょう。

小学校

何よりも準備が大切だと思います。準備と聞いて授業準備が真っ先に思い浮かぶと思います。まさにその通りなのですが、準備しないといけないことはほかにもいっぱいあります。何を準備したらいいのか、どのように準備したらいいのか分からないと思います。分からないのは当たり前で、知らないことを考えても仕方がないのですぐに助けを求めましょう。聞くことは恥ずかしいことではありません。聞くときに「どうしたらいいですか。」と、全て投げかけるのではなく、自分の考えを添えて聞くことができるとよりよいと思います。私も質問をしすぎて先生方に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。貴重な時間をいただいて申し訳ないと思っていました。でもその時に、初任者だから知らないことがあるのは当たり前、今はとにかくたくさん聞いて知識を得て、これから教えてくれた先生方に還していけばいいと言ってもらい私は心が軽くなりました。だから、分からないことはどんどん聞くいいと思います。私は初任者としての1年があったという間に過ぎてしまいました。1年目にしっかり学んでこれから先につながるようにするためにも準備は本当に大切です。1学期始業式を迎えたら3学期終業式まで一瞬です。1年目にもっと学びたかったと後悔しないようにしてほしいと思います。

小学校

これから皆さんが教育現場で働くに当たって、意識していただくといかなと感じたことは、「業務の優先順位を適切に判断する」ということです。教師という仕事は本当にやるのがいっぱいです。特に、4・5月は慣れていない環境の中、新しく知ることは多いし、学級の基盤をしっかりと整えていかないとならないので、慌ただしい日々が続くと思います。そこで重要になってくるのが、優先順位をつけることです。ポイントは、「それをやらなかったら明日困るのかどうか」です。テストの採点や、出さなければならない書類など、一気に来たら、どうしても全部しなきゃと思ってしまいますが、そんなことはありません。早く済ませるに越したことはないですが、切羽詰まっている時や調子が悪いなど思う時にはぜひこのことを思い出してみてください。

最後に、教師の仕事をしていて楽しい、面白いと感じることはもちろん多々あります。ただ、心からそう思えるためには、心と体にある程度のゆとりが必要だと思います。根を詰めすぎず、目の前の子どもたちと真摯に向き合うことができれば、来年のこの時期にきつといい一年だったなと感じられると思うので、ぜひご自身の健康を第一にこれからの教師生活を歩んでいただければと思います。

小学校

本当に様々なことを学ぶことができた一年間でした。日々の仕事をしながらも、並行して研究授業の準備など、大変なこともたくさんありました。しかし、どんな時でも周りの先生方が助けてくださったことで、何とか乗り越えることができました。また、辛くて大変なこともあったからこそ、児童から感謝をこめた折り紙のプレゼントをもらったり、運動会のダンスなど、児童が成長した姿を見ることができたり、とてもいい経験をすることができました。そして、そのたびに、「頑張ってきてよかった。これからも頑張ろう。」と思うことができました。

改めて、先生という仕事はすてきな職業だということを再認識することができた一年間でした。

小学校

年度当初に、勤務している学校の校長先生から、「初任者としての一年は二度とないから、その特権を十分に使いなさい」と教えてもらいました。最初はあまり意味がわかりませんでした。この一年が終わりに近づくにつれ、少しずつ言葉の意味を理解するようになりました。例えば、授業のことでどんなに小さいことを質問しても先輩の先生が優しく教えてくれたり、学年の仕事を代わりにやってもらい自分の時間は教材研究や授業準備にあてることができたりと、初任者としての環境をとってもありがたく思えるようになりました。もちろん、2年目からも周りの先生方は助けてくれると思いますが、こんなにも丁寧に答えてくれたり教えてくれたりすることはないのではとも思います。今になって、もっと普段の授業や生活のことについて、いろいろな先生に話を聞いておけばよかったなと後悔しています。これから初任者として働く先生方には、この一年をありがたく思って、過ごしてもらえたらと思います。ただ、初任者としての一年は、どうしてもできないことに目が向き、落ち込んでしまったり、自分を責めたりすることも多くなります。しかし、できたことやうまくいったことから学び、頑張っている自分を褒めて、モチベーションを上げてほしいと思います。私自身もここに書いたことを胸に刻み、来年度もがんばっていかうと思います。

小学校

基本的なことですが、報告・連絡・相談が大事だと思います。初めての中で、分からないことだらけだと思いますが、何でも自分で抱え込まず、ちょっとしたことでも同僚の先生に聞いたらよいと思います。私は、クラスであったトラブルや、気になる子どもの様子を、すぐに相談していました。また、普段の授業づくりのことも、毎回聞いていました。他にも、入り込みをしてくださっている支援学級の先生とも、日常的に会話をし、支援学級の子どものことだけでなく、クラスの様子を客観的に見て、気づいたことを教えてもらっていました。そうした会話の中で、うまくいく授業づくりや学級づくりのヒントが得られたりしました。また、そうすることで、同僚の先生と関係を築くこともできました。自分から聞きに行くことや相談することが大事だと思います。

クラスづくりや子どもとの関係も、最初はうまくいくことばかりではないかもしれませんが、子どもたちは本当に先生のことをよく見えています。一生懸命に頑張ることが、一番先生の気持ちが伝わる方法だと思います。また、ベテランの先生にはかなわないですが、1年目には、1年目にしかできないことがあると思います。今できることを、一生懸命にやればよいと思います。

小学校

なにもかも初めてで不安なことばかりでしたが、クラスの子どもの笑顔や周りの先生方のあたたかさに助けられながら、乗り切ることができました。一生懸命な気持ちや、子どもたちが大切に大好きな気持ちは、子どもたちにも保護者の方にも伝わっているのだなと感じることができました。子どもたちが「わかった!」と言ってくれるときや、自分たちでできることが増えたとき、頑張りが花咲くときの表情は格別です。子どもたちのために使う時間や自分なりに考えてやってみるという気持ちをたくさんもって、あきらめずにコツコツが大切だと思います。

小学校

一年間子どもたちと共に過ごすことができたととても幸せでした。また、子どもたちがどんどん成長していく姿には本当に驚かされました。人の成長を身近に感じながら仕事ができるのは教員だけではないかと思います。私は今年度の一年間で本当に成長することができました。自分が悩んでいるときには、たくさんの先輩教員の方々からアドバイスや助言をいただき支えてもらいました。

初任者研修では、授業づくりや人権教育、児童生徒理解などについてさまざまな研修を受けることができました。初任者同士で交流をすることで、とても刺激を受けましたし、勉強にもなりました。

中学校

私は、講師経験もありましたが、今年度はまた新たな気持ちで挑むことができました。何事もプラスに考えることを意識した一年間でした。環境が変わり、今までとのやり方の違いに戸惑うこともありましたが、この一年間を思い返すと全てが自分のためになってます。研究授業では自分の授業について見直すことができました。初任者研修も今まであまり研修を受ける機会がなかった私にとっては身につくことも多く、普段の業務に役立っています。

一年間を通して改めて感じることは、教員は成長し続けることができる素晴らしい職業ということです。4月に入学した時の生徒と3学期の終わりを迎えた今の生徒では大きく成長しています。毎日どのような声をかけるかや毎回の授業をどのように組み立てるかを考え続けた結果だと思います。

そして、最後になりますが最も大切なことは先生方自身の健康だと思います。悩む時期もあると思いますが、同僚や友人、家族との時間も大切にしながら毎日健康な状態で教壇に立つことが生徒のためにもなると思います。

中学校

私はこの一年で、生徒が輝く瞬間を何度も見てきました。それはできなかったことができるようになったとき、みんなで何かを成し遂げたときです。そのために教師は、授業内容を考えたり、企画したり、手立てを示していくことが必要であるように思います。学校行事で仲間と教え合いながら、練習を積み重ね、一曲が完成したとき、また劇で一生懸命演技したり、台本を考えたりして完成したときのあの生徒たちの輝いている顔は忘れられません。このように生徒たちが輝く瞬間のために、私は日々の業務がしんどくても頑張れますし、時間をかけてどのようにすればもっと良くなるのだろうか、先々の予定を読み、次は何をしなければならないのかを考え、準備をすることができるのだと思います。

この一年大変なこともありましたが、やりがいを感じながら勤務することができました。私の原動力となるのが、「生徒が輝く瞬間のために」であり、そのために頑張ることができます。みなさんも原動力となるものがきっとやりがいに感じ、不安なこともそっちのけになるくらいに一生懸命になると思います。もちろん周りの先輩の先生方にアドバイスをもらいながら、生徒とともに成長し、生徒のために頑張ってください。私もまだまだなので、これからもみなさんの先輩として頑張っていきたいです。

中学校

私は一年間を振り返って、「物事の優先順位を決めること」「自信を持ってコミュニケーションをとる」ことが大切だと思いました。

「物事の優先順位を決めること」に関しては、1年目は初任者研修に加え、授業づくりや分掌の仕事など多くの仕事があります。優先順位を決めずに一つひとつの仕事の後回しにしてしまうと、絶対に苦しくなります。ToDoリストなどに締め切りとすべきことをまとめる習慣をつけておくようにすると、余裕をもてると思います。言われたことをメモにとることも大切です。

「自信を持ってコミュニケーションをとる」に関して、生徒たちは、先生のちょっとした変化にとても敏感です。自分が明るく楽しくしていれば、生徒たちも安心して過ごします。時間をかけてコミュニケーションをとれば、その分生徒たちから話しかけてくれるようになります。保護者の方に対しても、毅然とした態度でいれば、家庭の状況など色々な話をしてくださります。誰に対しても、**しっかりコミュニケーションをとり、よい人間関係を築きましょう。**

4月から忙しい日々が始まると思いますが、ともに頑張りましょう。

中学校

まず失敗を気にしていると何も進むことができないと改めて感じました。ただ印象に残っていることとして、準備をしっかりとしたうえでの失敗は価値があるが、準備もせずに失敗したらそれは無駄な失敗だ。ということです。自分の中でまずは最大限の準備をし、そのあとは、思いっきりやり切ればいいんじゃないかなと思います。

もう一つは、先生方と積極的にコミュニケーションをとっておくことが大切だなと感じました。日頃の何気ない会話の中からヒントを見つけ出すことができると思いますし、それがきっかけで解決につながると思います。また、授業についても一人で考えるよりも複数で話し合いながら行う方がいろいろな視点からの工夫もあるのでよりよい授業づくりに繋がると思います。

最後に、PR動画にもありましたが、**常に完ぺきではなくてもいい**んじゃないか。ということです。常に完ぺきを求めることも悪いことではないと思いますが、私はそれだと自分自身を苦しめてしまいそうなので、できないことも自分だからと、周りの先生や子どもたちに助けてもらいながら過ごしています。そのような考えだととても気持ちが楽になり、より広い視野で自分らしく行動できるようになったと思います。一緒に頑張りましょう。

中学校

生徒と過ごした時間が本当に楽しく、そして幸せな時間でした。もちろんうまくいかないこともたくさんあった一年でしたが、何よりも充実した一年間だったと感じています。**生徒の人生の一部になれることがこんなにも難しく、責任があること、そしてなによりも幸せなこと**だとこの教員という仕事でしか味わえないものだと思っています。3年生の担任をしていましたが、卒業していった生徒たちにいつまでも胸をはれる、そんな先生であり続けたいと思います。

中学校

私が教員になった理由の一つに、自分が中学生時代の先生たちがいつも楽しそうに働いているからというのがあります。自分が教員になってみて改めて振り返ってみると、教員の仕事は大変なものばかりでした。教材研究、生徒指導、保護者対応、テスト採点など、時間がかかったり、急な対応が必要な仕事が多くありました。しんどい思いもしましたが、やはり生徒とかかわると、楽しいことのほうが多くありました。日々成長する姿を見たり、それが行事ごとではっきりとあらわれたりしたときは、とてもうれしかったです。しんどいことも多いですが、私は自分の中学生時代の先生方のように生徒たちと一緒に目一杯楽しんで働ける教員になれるようにしたいと思っています。初任の先生方にも生徒たちと目一杯楽しんで過ごしてもらえたらと思います。そのためにもちょっとした悩み事でも周りの先生方に相談してみてください。いろんな経験をして、1年を過ごしてもらえたらと思います。

中学校

数週間前まで大学生だった自分がいつの間にか、担任の先生をして、授業をして、テストをつくって、成績をつけていることには自分でも驚きました。なぜ私が先生をできているのだろうと思うときもありました。おそらく、私が生徒の前で先生をできているのは、周りの先生方のおかげだと思います。何もわからない私に一から教えてくださる先生や授業のおもしろい案を考えてくださる先生、何を相談しても優しく聞いてくださる先生、ほかにも多くの先生が支えてくださっているからこそ、生徒の前で元気に先生をできています。

自分がしていることを誇りに思うだけでなく、周りの先生がどれだけいろいろなことをしてくれているかに、気づいて感謝して、来年からは自分がするのだと意識する必要があると、2学期後半に気づきました。やってもらっていることに気づいて感謝するだけで、自分のやるべきことにも責任がもてる気がします。支えてくださる先生方に対して「ありがとうございます。」と言うことしかしてきませんでした。この気持ちを大切に続けたいです。

中学校

初任者として働き始めて、経験がないうえ、校務分掌や委員会、部会、学年関係など業務がたくさんあり、混乱するときも多かったです。そのために授業準備や教材研究にあてる時間も十分にありませんでした。一年間を振り返って、満足できたといえるような実践は少なく、教師の仕事はたいへんであると改めて思いました。そんな中でも今年一年頑張ることができたのは、子どもたちがいたからだと思います。担任をしたこともあり、子どもたちが気さくに話しかけてくれたり、私の足りないところを助けてくれたりしました。また、悩みを相談しに来てくれたりする子もいました。子どもたちから信頼されていることを感じたとき、その信頼を裏切りたくないという思いで頑張ることもできました。つらいと思ったときに支えになったのは子どもたちだけではありません。管理職の先生をはじめ、初任者指導の先生や学年団の先生など、たくさんの先生方にいつも助けていただきました。私は経験も浅く、授業だけでなく学級経営やその他細かなことまでわからないことだらけでしたが、だからこそ、たくさん相談し、ご指導もいただいたので、本当に多くのことを学べたと思っています。報・連・相を大切に初任者としての一年間を頑張りぬいてほしいと思います。

中学校

昨年の3月末に、自分の中で『この一年間、健康でやり切る』ということを決定的な土台目標としました。なぜなら、この一年は体も心もいっぱい使って、良くも悪くもたくさんストレスがかかる。そして、そんな中できつと無理をするだろうと覚悟していたからです。

大坂なおみさんのCMで「私はテニスプレイヤー、でもそれは私のすべてではない。(～以下省略)」といったものがありました。私は「はっ」としました。「私は教師ですが、それは私のすべてではない。」教師の仕事は好きです。やるからには全力です。でも自分を休ませるためにオフの時の趣味も大切にして、体も心もしっかり休めてください。それがきつとまた仕事を頑張る活力になります。

中学校

教師にとって一番のやりがいは、「子どもが成長していく姿を一番近くで見られる」ことに他なりません。その中で、自分も一緒に成長できるなら、尚良し!です。はじめの頃は、生徒に助けられる日々が続くことも多いです。その時に、「自分はダメなんだ」と思わず、「自分が成長するためのヒントをもらった」くらいで考えると、大概のことはうまくいくことが多いです。ぜひ初任者の皆さんには、恐れずチャレンジをしてほしいと思っています。きつとあなたたちのことを好きになってくれる生徒たちにたくさん囲まれて、楽しい日々を送れるはずですよ。

中学校

初めて教師の仕事で何をしたらいいのか分からないという不安があると思います。私もありました。私は「この準備で明日は無事に過ごせるだろうか」、「何か足りていないものはないだろうか」と周りの学年の先生方の動きを見ながら精一杯に一日を終える、そんな日々でした。

そんな生活に少しずつ慣れてきた頃に、豊能地区の初任者研修開校式の際に先輩の先生が話していた内容を思い出しました。「4月の初めはいろいろ不安もあり大変だと思いますが、まずは教材研究や授業づくりを頑張りましょう。」という内容でした。生徒との関わりも大切なことですが、まずは授業をしっかりすることが生徒との関係を作るために必要なことだと思います。

また、私が緊張していることと同じように生徒たちも頑張っているのだから、先生として頑張らないといけな。そのことに気づいてからは、私は学校に対する大きな不安は無くなっていました。だからこそ、焦らず自分のできることを精一杯続けていたら初めに感じる戸惑いや不安はなくなっていると思います。

養護教諭

最初は不安でいっぱいでしたが、何とか一年を終えることができました。一年間、学校内外を問わずたくさんの人に助けていただきました。困ることはたくさんあるだろうし、それが当たり前だと思います。困ったときに、先輩や管理職に相談すれば、アドバイスをもらえたり、一緒に悩んだり、実践してみたり、必ず成長する糧になります。子どもから学ぶこともたくさんあるし、学び、成長し続けられるいい職業だと思います。一緒に頑張りましょう。

栄養教諭

新しい環境は何度経験しても難しいものです。先生方の顔も名前も全くわからないまま新年度のスタートを迎え、慌ただしい毎日に流されるまま終わっていった4月。困っているときに声をかけてくれる先生に感謝し、分からないことがあれば積極的に聞き、誰よりも早く気づき、行動できるように心掛けました。その繰り返して、いろいろなものが少しずつ見えるようになってきました。一人職種なので、一人で問題を抱えて悩んでいても、解決につながらないことが多いです。また、一人でできることも限られています。自校の先生との連携はもちろんですが、他校の先生とのつながりも大切です。周りを見渡してみると、楽しくて頼りになる先輩方がたくさんいますよ。一生懸命頑張る姿を、必ず誰かが見てくれています。つらい時もありますが、できるだけ元気で前向きな初任者でいてほしいです。また、初任研では明日から即実践できるような内容が多く、同期の仲間とのつながりを持てる貴重な場です。コロナ禍でしたが、研修担当の先生方が、毎回工夫を凝らした楽しい研修を準備してくださっているので、積極的に参加すると得られるものも多くなります。多忙な毎日をお過ごしかと思いますが、ご自身の健康があってこそだと思います。楽しみながら一緒に頑張っていきましょう。

学校事務職員

はじめは不安なことも多いかと思いますが、職種は違うけれど助けてくださる先生や話しかけてくださる先生がいらっしゃるので、わからないことは一人で抱えず聞いてみるのが大切だと思います。

また、私は運動会や学習発表会に写真・ビデオ担当として参加しました。子どもたちが真剣に取り組む様子を見て、一生懸命頑張る姿はすてきだなと思いました。事務職員は子どもたちと関わる時間は短いですが、事務職員としての立場で関われることもあり楽しく働いています。

